常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1,210
編集部専用 1,269

あふれる魅力
福対協指定店
宮城靴店
平市一丁目角

お天気

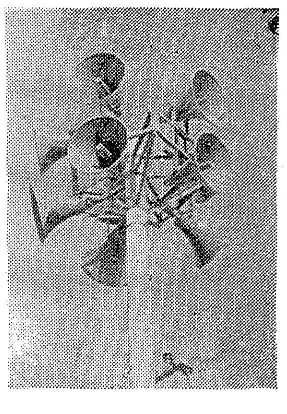
「今晩」北風で晴れ。「明日」南のち北西の風で、はじめ晴れですが午後には次第に雲が多くなり晩には一時雨れる。「海上」今晩おだやかだが、明日はおそくなつて風波出る。

鳴り響く名曲六段

各地に盛り上る愛の鐘運動

サイレンに代つて

平市　五日からオルゴールに



町や村から不良少年少女をなくし、明るい郷土を建設しようという「愛の鐘」運動は県下各地でようやく盛んになつてきた。平市でも平市校外補導連盟が青少年補導の見地から夜の帰宅時間を知らせるため愛の鐘設置を要望した。このため平市ではとりあえず夜九時に消防署のサイレンを十秒間吹鳴して帰宅を知らせていたが、火事と間違つたり、感じがわるいということのため平ロータリー・クラブが創立五周年を記念、愛のオルゴール資金として二十万円を寄付、市が五十万円の計七十万円で平市の高台物見ガ岡にオルゴールを取りつけ試験を行つていたが、いよいよ五日から朝六時、正午、夜九時の三回ならし青少年に帰宅時間などを知らせ、不良化防止に一役かうことになつた。この愛のオルゴールはナショナル・トランペット式で二十ワツトのラツパ十個で一キロ範囲はよくきこえるというもの。吹鳴曲は平の生んだ八橋検校が作曲し、市民からなじまれている名曲「六段」で一分間ならす。

【写真は愛のオルゴール】

25日に求刑公判

北上事件　七回目の公判開く

急行北上号列車転覆事件の被告元東京都千代田区銀座西四の四磐井鉱業KK運転手佐藤春美（三七）同三浦信平（三〇）の二人にかかる業務上過失致死事件の第七回公判は三日午前十時三十分から地裁平支部法廷で小町、田口両弁護人、樋口検事桐村裁判長係で開かれ、被告尋問が行われ、佐藤は裁判の質問に事故のあつたガードは低すぎるなどを答弁していた。なお証人、被告尋問が終つたためいよいよ二十五日午前十時に求刑が言渡される模様。佐藤春美被告の答弁次の通り

裁判長＝被告が運転手として磐井工業に入社したのはいつごろか

被告人＝二十八年です

裁判長＝ガードを通るとき注意しながら通つたか

被告人＝一番最初にある金町ガードは注意しながら通つた

裁判長＝ガードの高さは何メートルあるか

被告＝約三メートル八十ぐらいはあると思う

裁判長＝今度の事件についてガードはどうか

被告＝事故のあつたガードは金町と大体同じであるが低い感じがした。

裁判長＝ガードのところにあつた高さの標識は記憶あるか

被告＝事故のあつた前にはみたことがあつたが何メートルあるかは記憶がない

裁判長＝五月十七日そこを通つたことには間違いないか

被告＝間違いない

裁判長＝十トン車のトラックにあの荷物を積んで宮城県の松岩まで行けると思つたか

被告＝金町のガードが通れたので外のガードも通れると思つていた。それは金町のガードが一番低いと思つたからです

裁判長＝金町のガードはどうして通つた

被告＝金町のガードはゆう動しながらスレスレに通つたが本件のガードは眠つていたためゆう動しなかつた

裁判長＝事故のあつたのはどうして知つたか

被告＝三浦君に衝突したから起きてくれといわれて起されて知つた

裁判長＝三浦とはどのへんで運転を交替したか

被告＝平で交替した

裁判長＝起されたときの時間は何時ごろか

被告＝わかりません

裁判長＝三浦はそのとき態度はどうしてた

被告＝時間がたつにつれておれがやつたのではないかと話していた

裁判長＝何らかの形で列車をとめる方法があるか

被告＝火を燃やすとか駅に知らせればよかつたと思う

裁判長＝いままで警察、検察官に話したことと変つているのは

被告＝この場で話すことが本当です。

東京だより

最終の松川事件

城山山人

松川事件が起つたのが昭和二十四年八月十七日、満九年も経過している。最高裁の最終公判に入つてこの五日から二十六日まで判決言渡しが行われる。果してどうなるかはわれらの知るところではないが、この判決言渡しを前にして東京の各駅頭にはメガホンを持つた学生やその他の人々が署名を求めている。全学連に対する批判のやかましいとき、学生の行動は果してよいか悪いかは別問題として、松川事件が一部の人々のみによつて無実を訴えられていることは妙なことだと思う。しかも単に松川事件のみではなく、無実であるべき事件はもつといくらもあるのに、松川事件やその他共産党に関係している人々が被告となつている場合のみ、警察や裁判所のデツチあげとキメつけれていることが第一に不思議に思うのである。

いかに事件発生当時が戦後間もないとしても、新聞があり、そして警察でも犯人をあげたいために努力して作つたものでもあるまい事件の発生というものは厳然としている。また裁判も不公平な態度をとるとは常識的にも考えられない。誤りというものは誰にもあるかも知れないが、共産党の関係した事件であるからと、頭からデツチ上げられる性質のものでもあるまい。事件は及ぼした影響は重大なものであるが故に、当局としても慎重であつたと思う。一、二の証拠をもつてこれがために無実だというのもおかしいし、それを押し売りするかのような署名運動も賛成しかねる。

松川事件対策協議会の名の下に運動している人々の言に耳を傾けると、転覆作業はできない例えばレールをはずす作業に使つたスパナはわずか二四ミリのもので、作業不可能である。高橋被告は身体障害者であるから二里の山道を五五分で歩くことは出来ない。諏訪メモにも佐藤一被告が会社側と団交中の席にいたので、事件に関係はない。このメモも検事局は九カ年間もかくして公表しなかつた。このような無実なものを殺してはいけない。正しい裁判を求めるために要請するよう高裁に手紙をドンドン出してくれ。それから公判の資金カンパに参加せよと要求しているのである。

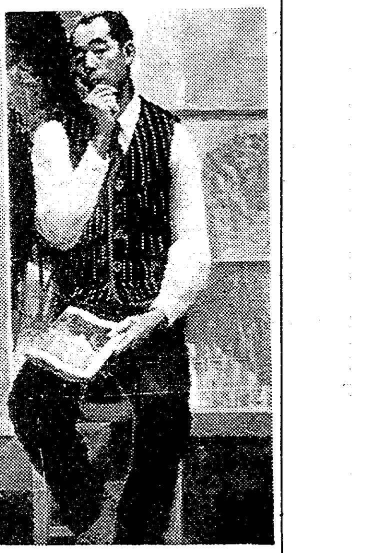
われらは諏訪メモを見たこともないし、問題のスパナがどんなものかも知らない。恐らく署名している人々も判らないだろう。それを強いるのであるから無実の国民を罪におとさないで下さいとわれらも叫ばざるを得ない立場にあると思うがどうだろうか。これは単にわたくしが共産党を嫌うためではない。

正しいことも悪いことも自由に批判し得て始めて出来る行動を平然とこのように広場の入口をふさいで署名を強いていることはまだわが国の空気がにごつている証左ではないだろうか。もつとも今年は秋空晴れて、陽はうらら—といつた天候にも恵まれていないからでもあろうか？

◉　◉

日本美展に入選

吉田さんの「自画像」



（写真は吉田画伯の入選作品）

去る十一月二日から今月八日まで東京都美術館で開催されている日本美術展覧会に出品した石城郡小川町画家吉田富美さんの「自画像」が見事入選した。同氏の作品が日本美展に入選したのはこん度で五回目である。氏は故吉田庄太郎氏のオイで上野美校を首席で卒業製薬、教育総監部などに勤務するかたわら絵の勉強をつづけて来たが、戦後小川町に引きあげ自宅にアトリエを建てて専ら絵の勉強に専念、光風会の主催する展覧会には毎回入選その将来を大いにしょく望されている。

四倉専門店の招待売出

四倉町専門店会では十日から一月十日までの一カ月間、年末年始大売出しを行うが、千円買上げに映画招待券一枚と千葉県船橋ヘルス・センター、成田山初詣りでの一泊二日の抽せん券一枚を贈呈、抽せんによつて五十名をロマンスカーで一泊二日の旅行に招待することになつた。映画招待は同町海盛座、東宝の映画館で一月十二、十三の両日〝大江戸の鐘〟と〝彼岸花〟の二本を上映する他に、上等醤油を贈呈する。

磐城通運スト通告

期末手当一・五カ月分を要求中の磐城通運労働組合（鈴木勝巳組合長、組合員二百三十人）では二日〇・九カ月の会社回答を不満としてスト通告を行う一方、県知事と地労委にも公告した。

ストを通告した同労組は会社の出方を見て重点か、全面かのスト態勢をきめることになつているが、スト突入は通告後十日を得てないとならないため、ここ一週間が最大のヤマとみられている。

アルバイト高校生募る

内郷郵便局では年末年始の郵便物配達のため男子高校生十名のアルバイトを募集している。期間は十二月一日から一月十日ころまでで日給二百八十円、時間は午前八時から午後五時までとなつており、市内居住者に限る。

危険防止怠たる

労基署　中山組の三人を送検

平労基署では三日、勿来市山玉町脇川三四中山組代表社員中山ミヨ（四五）同現場責任者大平正（四三）＝勿来市植田町字金畑二四＝同現場世話役柴田初男（四三）＝同市小川町字前内三六＝の三人を労基法違反の疑いで書類送検する一方、管内八十五土建業者に対し、警告書を発し、災害防止のため監督を厳重に行うよう指示した。

中山ら三人は去月十五日午後二時二十分ころ遠野町大平地内御斉所峠の道路改良工事中、道路下が突然土砂崩れし、約八メートル下の現場で働いていた遠野町大平皿貝土工、三島木キミヨさん（四五）と同町字奥吉の土工、石戸興さん（一九）の二人が生きうめとなり死亡した際、労基法により当然の措置として定められている土砂崩れを防止するための土止め、階段堀り、見張りをおこたつていたもので、労基法四十二条違反（安全衛生規則百十六条など）にとわれたもの。

なお、同労基署管内では昨年度は四百四十九件を数え、去る二十七年の二百十三件に比べ約一〇%の増加がみられ、年々増える傾向にある。これら災害の内容は主に事業主の法令や安全管理に対する認識が欠けていることに原因しており、今後このような危険な事業現場に対し厳重な監督指導を行うとともに、指示、命令に従わぬ事業場には即時司法事件として取扱い、労働者災害補償保険金の給付制度をどしどし行う方針でいる。

セメントの創立記念式

磐城セメント四倉工場（工場長岡田千早氏）では創立五十二周年を迎えて、三日午後一時から地元関係者多数を招いて盛大に披露式を行つた。この席上で停年退職者らを表彰した。この工場は明治四十年十一月二十九日に創立、今年は創立以来の生産高で九月に月産四万一千五百トン、十月は四万三千六百九十トンという成績を出している。なお、従業員三百五十一名（職員四十六名、工員三百五名）の年末手当は今月の十日前後に支給される見込みである。

全国の城跡訪れて

四国の青年平に寄る

戦災で親兄弟を一瞬にして失つた四国の一青年が幼少の時から興味を抱いていた城跡見学のため、裸の大将ごとき全国行脚を夢見、きよう三日平市を訪れた。この青年は四国松山市上一万野大谷一郎君（三三）で十才の時空襲により親兄弟に先立たれ、一人者となつた。少年時代から時代物に興味をもつて松山城跡などに立つては武士道はなやかし時代に思いをよせていた。こうしたことから全国の城跡を見学しようと去る三十二年秋、全国行脚のため小包を背に故郷の松山をあとにした。大阪—京都—名古屋—長野—山梨—千葉—茨城の城跡など三百数十カ所をくまなく見学、飯坂、二本松、須賀川から三日平城跡を見ようと市教育委員会を訪れたもの。平市では市内の知識者などからくわしく平城の歴史を聞いたが、これから相馬を経て栃木県の日光に行くという。

【写真は全国行脚者の大谷君】

文具のナガノ　平市銀座　電四八

雇主の滞納で

遺族補償費を減額さる

土建現場で作業連絡途中に汽車にはねられて死亡した一労務者に支払われる遺族補償保険金が事業主の労災保険滞納のため三分の一以下に減額されることになつた。

この事故は先月二十一日、勿来市植田字関場地内の作業現場で自転車に乗つて作業連絡に行く途中の労務者が列車にはねられて死亡したが、死亡後遺族に支払われる労災補償保険金の給付額が三分の一に減額制限されることになつた。なお、この差額は事業主が遺族に支払う義務を負わされている。

労基署の話　「事業主が保険金を滞納していたために遺族補償保険金が三分の一から二分の一くらい減額給付されたが、迷わくを受けるのは遺族たちである。平管内にも心ぁとない事業主が相当おり、災害をうけた数多くの労務者がいるので、このような事業主はよく認識してもらいたい」

玉川郷友会を結成

磐城市玉川地区出身者で組織する玉川郷友会（仮称）の結成会が、六日午後一時から平市紺屋町炭屋旅館で開かれる。これは平市役所市民課長丹野由雄氏らが発起人となつて旧玉川村出身者が平市内に多くいるため、この親睦をはかろうということから結成されるもので、メンバーには常磐交通社長野崎万蔵氏、野崎喜八郎氏、小松茂氏などの知名人が多数いる。同会は会長一名、副会長二名、理事若干名会計一名の役員がおかれる。

タダのみ男

平署は二日、平市神谷生れ住居不定無職、前科二犯樋口晃（四二）を詐欺現行犯で捕まえた。同日午後九時ごろ平市草野泉崎字岸酒類販売業渡辺貞三さん方で焼酎三合百円相当を無銭飲食したもの。

常磐労組で救援カンパ

常磐炭砿労組は二十八日各支部長、分会長あてに双葉郡新広野炭鉱組合員家族の救援資金カンパ実施の要請状を配付した。二十七日の第二回中央委で決めたもので、台風の被害をうけている小松鉱と安達郡三穂田村にある高旗鉱山の経営不振による救援で十二月十日迄に一戸当り十円ずつを資金カンパするもの。

急患もこれで安心

平に急救車お目見得

【写真は急救車】

伝染病患者などの輸送に霊柩車を併用するなどして不評をかつていた平市では、その対策として「患者輸送車」を購入することになつたが、去る十一月の臨時市議会で議決されたので、このほど立派な車を購入した。急救車はトヨペット・マスター・ラインで九十万円車体の色は濃グリーン、後部にはタンカが備えられているという近代的なもので、最高六人乗車できる。なお時速は最高百二十キロ。この購入により従来のような不便もなくなるので、市民からは喜ばれている。

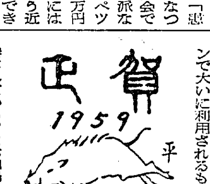
常磐青果協青年部役員

常磐市青果物商業協同組合の青年会発会式はこのほど湯本公民館で行われた。青果物商における業務の改善と発達、経営の研究、会員相互の親睦をはかるもので、青年会の役員が次のとおり決つた。

▽会長藤田高春▽副会長椎名議春▽会計岩佐実、中柴茂夫▽監査小野光明、菅野弥一▽幹事河野茂太郎、鈴木次男、新藤一郎、佐藤弥夫、小林登

平局に年賀スタンプ

正月の年賀ハガキには、いのししとペンギンのスタンプをどうぞと平郵便局では六個のスタンプを三日から窓口において市民のサービスをはかることになつた。



三十四年のいのししの年をまねたものと南極観測記念のペンギンで大いに利用されるものと期待されている。なお同局では毎年スタンプが盗まれるので、持つていかないように望んでいる。

【写真は記念スタンプ】

魚菜市況

青果（単価キロ当り円）

▽キリミツバ（六束）	六〇〇—七〇〇
▽ネギ	三〇—四〇
▽〃（小束）	一五—二〇
▽ニンジン	二五—二〇
▽ゴボウ	一六—三五
▽大根	四—一二
▽サツマイモ	一〇—一八
▽ジャガイモ	七—一六
▽ホウレン草	一三—七
▽アブラナ	二—二・五
▽里イモ	一〇—一三
▽ハクサイ	一二—七

魚類（単価キロ当円）

▽サンマ	二四
▽スズキ	一四七
▽ヤナギ	一七三—一八七
▽アカジ	九三
▽メヌキ	八〇
▽カジキ	二七〇—三二〇

余韻

平市神谷地内にある道山林踏切は相次いで二人の犠牲者を出した。しかも二人目の場合は警報器設置運動が高まり、またこれ以上犠牲者を出さないようにと供養祭が行われる前日だつただけに大きな同情を呼んだ。警報器さえ設置されていたら…と遺族たちもあきらめきれないものがあろう▼列車は定められたレールの上を定められた時間に通つているのだから、レール以外のところを通つて通行人にケガでもさせない限り事故の大半は通行人の不注意ということになつている。だから通行人さえもつと注意をして通ればこんなことにはならないということにもなるわけだが▼責任がないからといつて危険な「場所」を放任しておく手もない。歩行者の注意心を喚起することも大切だが、それと併行して「危険な場所」を極力排除する責任は国鉄にもある。特に道山林踏切のように見通しのきかないところは列車を運転する側に立つて考えても不安であると思う▼機関車に同乗してみても、踏切りに白い旗が出ていると安心して通過できるが、無人の踏切りにさしかかるとゾツとする。機関士として同じ気持ではなかろうか。こうした不安を一掃するためには踏切りの立体化が最善であるわけだが、無人ふみきりさえ解消できない現状ではとうていおぼつかない相談であろうから、せめて「危険なふみきり」だけでも早急に警報器なり警手を配して事故を未然に防ぎたいものだ▼また歩行者も自分の命をもつと大切にしたい。無人ふみきりが多すぎるために警戒心がマヒしているのではないかか。

今日の歴史

酒喜庵提供

検察首脳会議・起訴猶予となつた米兵ジラードの控訴を見合す（1957・昭和32）

手カゴ下げてもノンビリと

二階のスーパー（六日開店）でお買上げの際は、販売員がいませんので、売場に備えつけの手カゴに入れ、出口の勘定場でお支払い下さいませ。
・ただし方々にご案内係が待機していますからご用の向きは何なりと仰せつけ下さい。
本館特売　焼そば　百g　十一円

銀座
平市
藤越

社告！
外務員募集
男女　二名　年令不問
但し身体強健にして身元確実なる方
優遇　履歴書持参
常磐毎日新聞社

本日開店
なべやき　八〇円
中華そば　五〇円
白馬の雪（瓶入）正一合通し付　七〇円
味の食堂
味の友
公会堂通り（谷口の先）

案内　スライド・アドバルーン・店内装飾
営業　沿線看板・屋外看板・サンドイツチマン
株式会社　常磐広告社
平市三十米通り（七十七銀行隣り）電四四七

石炭コークス
火力の強い
火持の長い
カスの少い
徳用石炭
※電話三七番。二三七番へ
一俵よりお届けいたします
平市田町　常磐炭礦販売会社

マルキ
プロパン
月賦と団体割引
平市正月町
平酸素
電1139

看護婦家政婦の御用命は＝電三〇七番へ
労働大臣認可
平看護婦家政婦斡旋所
（出張先多忙＝看護婦＝家政婦＝募集）

内科　外科　産婦人科
★入院随時
前田医院
院長　前田清美
副院長　前田春雄
勿来市植田町本町六三
電話　一二四番

不動産売買・仲介評価貸家斡旋
公認
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際　色川材木店内　電三六一番

クリスマスの
宣伝と装飾は
アドバルーン
照都広告
平市四丁目（本局裏）TEL九一四番

厚生医療指定病院
労災保険指定病院
肢体不自由者相談所
外科　整形外科
内科　小児科
皮膚科　泌尿器科　呼吸器科
理学診療科　レントゲン科
財団法人
竹林病院
院長　竹林貞吉
本院　平市十五丁目十三番地　電話六〇八・八一一番
分院　平市小太郎町十三番地　電話一四七四番

【写真は用地造成を急ぐ小名浜港付近＝鳥かん図】

常磐開発を探る

工場用地の造成急ぐ

小名浜港中心に輸送も拡大

⑧

常磐地区の三十三年度新規工業地区産業立地条件、工業適地の用地ごとに土地の状況や用排水関係、輸送施設との関係を調査したB種調査は小名浜、勿来平の三地区について調べた工場誘致への用地造成のあらゆるものを明かにしたものであり、その三地区ごとに県の調査内容をみてみよう。

小名浜　同地区は磐城市役場汐入、堤北、橋元、土井口、甚太郎東をはじめ小名浜港付近の海浜地、同市下川字高海島、滝尻字六枚、神力前、冨岡前、東橋本、西橋本、滝尻道、大道北など六ブロックにわかれ、総面積は百三十万坪の広大なものとなつている。同用地は東北一の海外貿易港をめざす小名浜港に位置する臨海工業用地で海浜地は同港湾内四・五メートルの線まで埋立てして用地を造成これの一部を三千トン専用埠頭とする構想のもとに一部を埋立完了している。また藤原川付近は同河川を開さくし一千トン級船舶の接岸を可能にするための構想をもつており、同用地の東部は小名浜臨港鉄道、国鉄泉駅に隣接しているほか西方約三キロにある県道泉・小名浜線は国道六号線に接続し三地区中で一番好条件を備えている。

産業立地のうちで主要素となつている交通、工業用水と上水道、エネルギー、既存企業との関連性についても好条件をもつている。とくに小名浜港は一万トン一バース、三千トン二バースの接岸能力に六トンクレーン一基、四トンクレーン一基、一千二百二十六平方メートルの埠頭倉庫の荷役施設を有し、貨物の取扱量も三十二年度は年間三十万トンを越えており、これに常磐地区主要物資の石炭、工業塩、燐工石、硫化鉱などと新規企業の製品を加えると百万トンに達するものとみている。

このような取扱い貨物の増加にともない同港は整備五カ年計画で一万トン、三千トン埠頭をそれぞれ一バース増設、埠頭倉庫一棟、荷役機械数基の整備と石油エネルギーの確保をはかるために、とりあえず石油配分基地を設置するが、将来は石油化学工業の振興を目的に三万トン専用埠頭も計画している。

さらに鉄道は国鉄泉駅から小名浜港までの臨港鉄道を国鉄移管で調査中であり、なお石炭、セメント、銅鉱石の海上輸送を円滑にするため平小線小名浜—江名—鹿島—平—草野を新設する。

さらに一級国道六号線の完成鮫川総合開発による高柴ダムの完成によつて毎日二十五万トンの工業用水の可能と年間二百六十六万トンを出炭している常磐炭田の南下により、同地区の石炭取得が好条件となつている。

このほか日本水素、新日本化学旭化成、日本専公社の製塩工場など各種既存企業とも隣接している点が同地区にいよいよ良い条件を備えている。しかし一方同地区中央を流れる藤原川、釜戸川の両河川はいずれも流域面積がなく、上流の常磐炭砿が放出する坑内水のため工業用水としては不適当であるのと、地下水も砂層で浸水の見込みなくあまり期待できないが、鮫川総合開発による工業用水路、磐城幹線が布設され、豊富な海水利用も容易である。

予防に積極策を

火防の懇談会　ワラ屋根一掃も検討

県石城事務所では火災予防週間行事の一環として一日、同所会議室に消防、警察、学校、各事業場、婦人など三十人の関係者と防火懇談会を開き「火災をどうして防ぐか」を中心に活発な座談会を開いた。同懇談会は平地区消防協会副支部長の志賀重右エ門氏を座長に進められ、昨年十二月二十日焼失した信夫郡飯坂町平野小学校の火災状況について出火場所、建物の状況、付近の地理と水利の状況、気象状況などについてくわしく検討し、学校など児童施設の防火、火災発生時に対する態度を話しあつた。

このあと、火災予防運動の実施について、県厚生消防課高野係長の話。懇談事項に移り❶火災通報は末端の地域住民まで知らせてもらわないと早期発見と初期消火の徹底ははかれないという声があり、これに対して消防車のあるところはサイレンを鳴らし、マイクで火災の状況を知らせるほか火災発生の吹流しをあげるように各消防が努力することになつた❷電気機具による火災が最近とくに多くなつたが、これを防ぐために素人の電線の配線は止めて専門家に依頼するように婦人会が中心となり一般家庭に啓蒙する❸火災予防は台所をまかなう婦人の自覚が一番大切だが、これには婦人会が中心となつて各家庭のカマド検査を行うようにしたらどうかという話であつたが、婦人が同じ地区のカマド検査を行うことは他人の台所検査にもなりかねないので他地区の婦人会と交互に行うべきだーという声が強く、結局消防団員と協力し各市町村の婦人会が話合つてカマド検査を行うことになつた❹火災時に最も類焼性のあるワラ屋根一掃は資金の問題で簡単にはできないが、県農協中央会が行つている火災共済に加盟し、ここから融資をうけて行うよう農協消防団が呼びかけてワラ屋根解消運動を促進することになつた

このほか避なん救助態勢の徹底は学校などはよくやつているようだが、特殊児を扱つている施設はなかなかめんどうであるため今後の課題として関係者が対策を立て、積極的に訓練を行うこと。とくに消防機関の警防態勢は常に強化することが大切であり、一般市民をリードして火防に当つてほしいと要望があり盛会のうちに終つた。

入賞者など表彰

勿来の文化祭

第三回勿来市産業文化祭は十二月一日その幕を閉じたが、同祭に特に協力を願つた関係者、入賞者などの感謝状贈呈式ならびに表彰式を一日勿来第一小学校で行つた。

▽感謝状贈呈者名（総志協力者）＝勿来農業協同組合外十四名（商工館）＝古川酒造店外四九名（文化館）＝紫安次郎氏外十九名（無形文化財）＝植田佐糠町有志外二名（保健衛生館）＝沼田信勝外八名（農林水産館）＝勿来市農事研究会連合会外七名（畜産共進会）＝宮下牛乳店外六名（農機具展示会）＝猪狩農機具店外四名（水稲旱ばつ対策協力者）＝呉羽化学工業KK外三名

▽水稲多収穫共進会入賞者、知事賞大平政一（植田添野町）一等賞大津泰治（植田後田町）二等賞赤津三郎（錦町台）三等賞藤田嘉一（勿来窪田町）四等賞佐川甲一（山田町下山田）

▽農林水産の部知事賞、玄米、鈴木勉（植田高倉町）同大根八代祐一（植田佐糠町）同白菜渡辺督副（勿来酒井町）一等賞大豆清水勝美（山玉町）外二十名二等賞大豆永山次男（植田仁井田町）外六十名、三等賞稲株斎藤一男（錦町仲田）外百七名、

▽文化館の部一等副食物山際初子（植田町北台町）外五名、二等手芸品成瀬撰枝（植田町）外二十一名、三等酒ノ肴小松山さつ（植田町旭町）外三六名、

▽畜産共進会の部知事賞豚佐々木政高（勿来窪田町）一等めん羊山田益一（錦町）外二名、二等豚小松栄太郎（勿来窪田町）外五名、三等豚荒川仁平（勿来酒井町）外九名、四等豚赤津正雄（小川町）外十名▽副賞種豚登録協会県支部長賞、特賞豚佐々木政高、一等豚平山久、同豚佐々木政高、同豚小松栄太郎、▽日本めん羊協会長賞めん羊山田益一▽県めん羊連合会長賞めん羊昼正

中学バスケットの成績

石城地区中体連主催の第四回石城地区中学校新人バスケットボール大会は三十日午前九時から内郷で開き、女子は小名浜一中、男子は平三中が優勝した。

◆女子準決勝

小川中14—11錦中

小名浜一中24—7平一中

◆同決勝

小名浜一中19—16小川中

◆男子準決勝

平二中21—15平一中

平三中24—7小名浜二中

◆決勝

平三中23—19平二中

赤井簡易水道の起工

去る十七日の平市臨時市議会で議決された赤井簡易水道新設工事の起工式がさの二十八日午前十時から大峯水道課長など関係者が現場で行つた。同工事は総予算五百五十六万円で計画によると夏井川堤防付近に十馬力の水源ポンプ二台、深さ六・六メートルの井戸、送水管三百九メートル（直径七十五ミリ）排水池（八メートル×六メートル、深さ三メートル、容量百四十四立方メートル）を設置するほか、配水管として直径百二十五ミリのものを三百七十四メートル、百ミリ七百二十四メートル、七十三ミリ千五百九十九メートル五十ミリ五百七十二メートルを布設するもので完成は十二月下旬の予定。なお給水は十時間可能となり、二百三十戸＝千七百人＝に給水されるもので水不足に悩まされていたものが一挙に解決される。

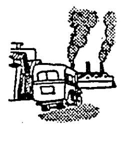
自転車ドロ

内郷署は二日同市綴町一の坪五一金沢マサ方炭鉱夫佐藤正（三）を盗みの疑いで捕えた。十一月二十八日午後六時ごろ市内一の坪五四菓子商柴田勝さん方軒下から同人所有の中古自転車一台（四千五百円相当）を盗んだほか、一件の盗みを働いていたもの。

イワシ漁に期待して

サンマからイワシブームに入つた磐城市小名浜港には連日イワシが水揚げされている。各漁船は早くもイワシ網の積込みに大童となつているが、サンマ漁では予想したより安値に買いたたかれたという苦い経験もあるので、漁業家たちはイワシでこれを取り返そうと意気込んでいる。

【写真はイワシ網積込みにいそがしい小名浜港】



修学旅行の心得

内郷市教委でつくる

内郷市教育委員会では来春の修学旅行時をひかえ、旅行のしおりをつくることになつたが、七日第一回打合せ会を開くことになつた。

しおりの内容は❶朝の集合から乗車まで❷内郷駅到着から解散まで❸私たちのもちもの❹出発する前の日まで❺旅行の日❻沿線車中見学❼都内見学❽東京の歴史❾見学コースなど二十八ページになつている。朝の集合は各学校ごとに定められた場所に四時二十分まで集合する。当日欠席の場合はかならず集合時間までに決められた場所に届ける。時間前は班長は人員を点呼して受持ちの先生に報告する。見送りは列外に出て付そい父兄は児童と共に定められた場所に整列する。自分勝手に腰をおろさないで、先生に定められた通りに腰をおろす。父兄の人は指定された席につく。帰りは泉駅のあたりから下車のために持ちものを整理する。汽車がとまるまでは席をはなれないで先生の指図とおり下車する。　おりたら朝の集合場所に整列し、人員点呼する。持ちものには校名、氏名をつける。食べものはべんとう三食分と間食（少量）旅行のしおり、えんぴつ、鉄道地図など、手ぬぐい、ちり紙、古新聞、水とうかビン、食べかすを入れる紙ふくろ、こずかいは百円以内で雨具をかねたナイロンのふろしき、はきものはよくならしてはくこと。旅行まで健康に注意して前日は早めにゆつくりねむる。おみやげは勝手に買わないからみやげのやくそくはしない。くすりは学校にも用意してあるが自分にあてるくすりはもつてゆく。

「車中の注意」❶車中を走りまわつたり、ワアワアさわいだり、デッキに出たり窓から首や手をつき出さない❷食べすぎたり食べかすを窓や車中に捨てないでくずかごに捨てる❸車外ばかりみていると汽車に酔うのでしおりの勉強やスケッチ等をする❹気分が悪くなつたときはガマンしないですぐ先生に申し出る（古新聞を用意する）❺車中の用便は汽車が走つている時にする（WCは便所のこと）❻便所に入る時は手ぬぐいやポケットのものを落さないように注意する。

映画　上映中　民劇

人生劇場

侠気の血をつぐ　多感な青年の物語

昭和八年、時の都新聞に連載され大好評を博した尾崎士郎原作「人生劇場」の映画化。三州吉良に生れ侠気の血を受けついだ多感な青年青成ひょう吉の少年時代及び青雲の志を抱いて上京し、早稲田大学に学んだ青春時代を中心に明治末期から大正初期に至るうつぼつたる日本の興隆期を背景に意気と波瀾の春秋を東宝スコープ、イーストマンカラーで描く大ロマンである。

物語　明治末期の三州吉良港—かつて荒神山の喧嘩の時に吉良の仁吉が舟出したという横須賀村に住み旦那衆と呼ばれた辰巳屋の青成ひょう太郎も家運が傾いた今、一人息子のひょう吉のゆくすえに大きな夢をかけていた。それだけにひょう吉へのしつけは厳しい。こわがるのも構わず大銀杏の木のテツペンまで登らせたり喧嘩に負けて帰つてきたりすると目の玉の飛び出る程どなりつけた。ひょう吉が岡崎の中学へ入るようになつてまもなくひょう太郎は担任の戸田教師から呼びつけられた。ひょう吉が同級の夏村大蔵らと共に校内新聞を発行した内容が校長の熊襲閣下の忌諱にふれたのである。

戸田先生こと黒馬先生のとりなしも空しくひょう太郎はさんざん油をしぼられた。こんなことがあつてもひょう吉より年上の夏村は少しも臆く気配など見せず、ひょう吉の下宿でバツトを吸つたり、雲右衛門バリに浪花節をうなり出す有様。ひょう太郎はくじけるひょう吉に「どんな悪たれをやつてもいい、ひとりですつと立てる人間になれ…」と励ました。その父も中学を卒えてひょう吉が戻つた頃はすつかり年老い辰巳屋の腐敗も見るかげもなくおちぶれていた。だが仁吉の血をひき侠気が売物の吉良常だけは今でも「辰巳屋の旦那」としてひょう太郎によく仕えていた。然しその吉良常も乾分の〃のみこみの半助〃の注進をまにうけて杉源を殺してしまい巡査にひかれて行つてしまつた。早稲田大学政治科に入つたひょう吉はひょう太郎の喜ぶ気骨ある青年になつていた学園にかかわりない大隈総長夫人の銅像が校内に建立されると聞き憤激したひょう吉は教壇にかけ上ると居並ぶ学生に銅像設立反対のげきを飛ばした。これをきつかけに教室はけんけんごうごう拍手と喚声のるつぼに化した。意気盛んなひょう吉を初め新海、吹岡、横井、高見等は〃学の独立〃を高唱しながら神楽坂へくり出した。やはり今は早稲田に学ぶ夏村も意気に感じ後に従つた。だがひょう吉は一行と別れた。それはおりんに逢うためだ。子供のころ母親に連れられ辰巳屋に貰い風呂に来てたおりんが今は光龍と名乗つて新橋で芸者になつてるのだ。烏森の三流待合に入つたひょう吉はおりんを待つたがとうとう姿を現わさなかつた。ひょう吉はその夜初めて女を知つた。おりんではなく小奴という不見転芸者だつた。

銅像問題をきつかけに学内は西村学長派と前学長の白川派に別れ対立していたが、ひょう吉等は浩然の気を養うため江戸川べりの料亭柳水亭に遊んだ。そこには九州男子新海一八のほれた女お袖がいる。「わが胸の燃ゆる思いにくらぶればあ…」張切る新海に気の毒に彼女はそれを知らない。宴をたけなわ欄干にもたれて水辺を眺めて いたひょう吉はそこにいたお袖に手招きされた。「今度一人で来て…」お袖はささやいた。そのころ、故郷でのひょう太郎は借金も払えない程落ちぶれていた。監獄から戻つた吉良常に遺言をたくしてひょう太郎はピストル自殺をとげた。

今はお袖と同棲している駒形の下宿で夏村からこの知らせを聞いたひょう吉は急ぎ三州横須賀村へ向つた。ホームに降りるとそこは空には花火まであがつて真つ黒な人の波、おりんがこの地から選出された代議士に受け出されて式を挙げるために戻つてくるのを待つ人達だつた。人力車に乗つたおりんがひょう吉を見て懐しさの眼を向けるヒマもなくひょう吉は人波に消されてしまつた。父の遺がいを守つているのは母おみねと吉良常の二人だけだつた。「辰巳屋の家名をあげんことを思うまじきことなれ…」ひょう太郎の遺言を読みひょう吉は父の偉大さに胸をうたれた。

宝石の毛糸
ダイヤモンド毛糸
卸部 電354
小売部 電14
平銀座 ハシモトヤ糸店

仏具
平市新川町
橋本屋

四倉文化祭

六日から開く

四倉町の産業文化祭は来る六、七の両日四倉小学校を会場に七館（農林、水産、厚生、工業、文化公民、商業）で華々しくふたあけする他に同校前路上に町内商店会の〃でこ市〃が繰り出されるなど今から前人気を集めている。

このため四日午後一時から同町公民館で産文祭運営上の最終打合せ会が各館長（七館）と事務局員らで協議される。

慶弔録

3日

【内郷市】

「婚姻」▼下遠野政一と佐川勝江（川平六七）▼吉田信勝と橋本静枝（入山四一）▼佐久間幸一と山本愛子（浜井場一）▼高坂忠と都沢ハル（滝五六）▼鈴木庄吾と阿部祐子（高野作七四）

「出生」▼下遠野正勝（川平六七政一長男）▼堀野誠（楽根六五好三男）▼高坂忠夫（滝十七忠長男）▼大島久義（金坂五六久長男）▼伊藤透（桜井九二覚三男）▼宮富士夫（堀坂一二三唯秋三男）▼小田島正子（常磐市宝海正長女）

「死亡」▼野沢唄子（鬼ケ沢七一）▼根本林平（浜井場一）▼川崎千賀（平市山崎二二）

【勿来市】

「婚姻」▼富岡宗政（植田佐糠町）と渡辺文子（山田町）

「出生」▼小野雅休（植田町金畑幸枝二女）▼野田勝嘉（平市五丁目康弘長男）

【平市】

「出生」▼渡辺奈美子（好間村大字上好間政保長女）▼平沢勇（赤井字常住一四幸一二男）▼追川秀雄（好間村大字上好間喜平二男）▼鈴木順一（磐城市下川秀次二男）▼鈴木利光（赤井反田一三五利長二男）

「死亡」▼間宮松次（三五）（胡摩沢一五〇てる子夫）▼吉田ミヨ（七三）（仲間町二七清妻）▼渡辺秀雄（六三）（勿来市植田稔父）▼高橋ナミエ（四三）（好間村北好間留吉妻）▼渡辺奈美子（好間上好間政保長女）

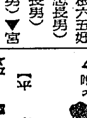
「婚姻」▼深谷英夫（鍛冶町三〇繁作二男）と小川ハツエ（西白河郡矢吹町英佐美長女）▼山崎啓一（古鍛冶町三忠兵衛長男）と宮崎光子（茨城県那珂湊市正次郎五女）

今晩のラジオ

NHK（第一）
六、三五　一丁目一番地
七、三〇　青春の暦
八、〇〇　演芸独演会
八、三〇　希望音楽会
九、一五　民謡をどうぞ
九、四〇　時の動き
一〇、三〇　風流うた草紙

ラジオ福島
六、一〇　赤胴鈴之助
六、三〇　フクちゃん
七、三〇　美空ひばりアワー
八、〇〇　素人物まねコンクール
八、三〇　浪曲名人十八番集
九、〇〇　石原裕次郎アワー
九、三〇　愉快なトリスバー
一〇、〇五　連続浪曲
一〇、三〇　民謡とともに
一一、〇五　時事解説

NHKテレビ
七、一五　バス通り裏
七、三〇　となりもとなり
八、〇〇　上方お笑い劇場
八、三〇　テレビコンサート
九、〇〇　事件記者
九、三〇　週間スポーツ
一〇、一五　ニュースの焦点



今晩の映画

【平市】
★平館　九日迄　電五六六
五、三五　東京午前三時
六、三五　都会の怒号
八、三五　完全な遊戯
★平新東宝　九日迄　電一八三〇
七、一〇　たけくらべ
八、三六　警察官出世パトロール
★世界館　九日迄　電二八六
六、三五　浪曲天狗道場
七、四五　抜き足差し足忍び足
八、四〇　ぬれ髪剣法
★東映劇場　九日迄　電三六〇
八、三〇　一丁目一番地

（町内ニコニコ会館）
★民劇　九日迄　電一三三
八、〇六　森と湖のまつり
七、〇四　大人なには分らない
八、四〇　人生劇場
★ひかり座　八日迄　電一三六
六、三五　絹の靴下
八、一〇　女給志願
★栄楽館　七日迄　電二四〇
六、三〇　菩提樹
八、三五　めぐり逢い

【内郷市】
★綴映劇　六日迄
六、三〇　ソ連の人工衛星
七、三〇　決戦オレゴン街道
九、〇〇　大遠征軍
★第二いわき　九日迄
六、三〇　都会という港
八、〇〇　蒙古大襲来

【四倉】
★国際劇場　三日迄
六、三〇　殿方御免あそばせ
八、三五　地獄特急
★海盛座　四日迄
六、三〇　どくろ狂女
八、四〇　星は何んでも知っている
★東宝　四日迄
六、三〇　星は何んでも知っている
八、四〇　どくろ狂女

【植田】
▲植田館　九日迄
九不敵な男
人肌孔雀
▲菊多館　九日迄
今は名もない男だが
くれない權八

パンは開花亭

クリーニング
洗張・防水
小松崎
平館前 電1343

大谷石
井上
平五電66

鉄骨建築のことなら
TSA
TEL 2,284 1,721
鉄骨設計製作 鉄道架線
株式会社 平工製作所
平市谷川瀬39丁ノ26

カメラは田中

ラジオ月賦
三幸電気部
平三電506

広越の牛豚肉

料亭
小富

靴
フカヤ

福助ミシン・トヨタ編物機
河合ピアノ・オルガン
綴の 小山商会
ミシン部・楽器部 TEL 1576

銘菓
と段羊羹
平凡

D.P.
カメラとシネ
富士商会
TEL. 2144

質
山一
電二六四
平市紅小路

Super GASOLINE
MITSUBISHI
一年365日……
24時間無休……
常磐養油
内郷市御台境 TEL2146

お部屋に春をよぶ…
1958年型
暖房器具
大量入荷
東芝・富士・ナショナル其の他各種
月賦の御相談に応じます
アフターサービスの店
胡口ラジオ店
勿来市植田町 TEL278

尼子
まんじゅう

あみもの生徒募集
入学随時。規則書呈上
新しい感覚で考案された編機
東京文化のスタートF8
三沢ミシン商会
東京文化編物教室
平市三丁目平和通り
TEL 八六四

栄養満点な！
美味第一経済的にも
神戸特選精肉牛肉が
一番お徳用です！
鎌倉ハム各種特約店
緑屋牛豚肉問屋
本店 平市一丁目 電五三九
支店 平市中央通り 電七九四

☆浴室完備☆
旅館
和乃久
商談に宴会に
ご利用の程お願い
申し上げます
平市（旧尼子裏手前）電一七〇

出前迅速
まのとんかつ
大宝
平市銀座通り 電九六八
カツライスの部
松ライス 一三〇円
竹ライス 一八〇円
梅ライス 二三〇円
かつ丼の部
並かつ丼 一五〇円
上かつ丼 二〇〇円

ふとんのお手入れは
デンワ四二二へ
すぐお伺い致します
スズキ
平市新川町 デンワ四二二